

臨床検体の利用

#11 再生医療と間葉系幹細胞バンク

I. 再生医療の現状

江副 幸子 先生

大阪大学大学院医学系研究科 空間環境感染制御学
特任教授



II. 間葉系幹細胞バンク運用の 取り組みについて

岡本 美奈 先生

大阪大学医学部附属病院 未来医療開発部 助教



再生医療は、これまで治療法がなかった難治性治療の患者さんに対する新たな治療法をうみだしている。一方で、再生医療の普及には安定的な細胞供給システムの構築が重要な課題となっており、大阪大学では、患者さんの余剰組織から臨床グレードの間葉系幹細胞を調製し、凍結保存(バンク)を行っている。本講演では、おもに間葉系幹細胞を中心とした再生医療の概説と、間葉系幹細胞バンク運用の取り組みについてご紹介する。

2019. 12. 18 水

18:00～19:30 JKiC1階会議室